

# 文部科学大臣杯 第18回小中学校将棋団体戦 神奈川県大会 開催要項

※新型コロナの感染リスクを減らすため規模を縮小して開催します。感染症の流行によっては、大会を中止・変更することがあります。その場合は、逐次ホームページに連絡事項を掲載します。

※当日、午前7時の時点で以下の5種類の警報が1つでも横浜市に発表継続中の場合、大会を中止します。

ア. 暴風警報 イ. 大雪警報 ウ. 暴風雪警報 エ. 特別警報(大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪)  
オ. 降灰警報

※試合の出場日、時間帯(午前・午後)、組み合わせ等は、大会のおおむね一週間前にホームページに掲載しますので、必要部分を印刷してご持参ください。

- 1 コロナ対応
- ・時間短縮のため、二日間の大会を一日目の午前①・午後②、二日目の午前③・午後④の半日単位の4ブロックに分け、参加チームは①～④のいずれかに出場します。
  - ・昼食の時間は設けません。また会場で昼食をとることはできません。
  - ・本大会は無観客で実施するため、観客(保護者を含む)の来場はできません。
  - ・要項末尾にある新型コロナウイルス感染防止対策をお読みいただき、感染対策へのご協力をお願いいたします。
  - ・大会当日、以下の文書、用紙1・2をご準備ください。(受付には**用紙2**のみ提出)提出の無い児童・生徒、学校は大会に参加できません。

- ※1 **用紙1** 児童・生徒及び引率者は「参加者の健康状況チェックシート及び参加確認書」を大会当日記入し、引率者に提出します。
- ※2 **用紙2** 大会引率者は、用紙1を集約して「参加状況報告書」を作成し、大会当日受付で係に提出してください。

★用紙1, 用紙2は、本要項の最終ページにありますのでコピーして使用してください。

## 2 日時・会場 ○日時：令和4年6月26日(日)

- ① 午前 中学校選抜戦予選、中学校交流戦
- ② 午後 中学校交流戦

## 7月3日(日)

- ③ 午前 中学校選抜戦決勝、中学校交流戦
- ④ 午後 小学校選抜戦・交流戦、中学校交流戦

※両日とも、午前の部は9:20～12:20 午後の部は13:00～16:00

※中学校選抜戦で予選を勝ち抜いたチームは、二日間の参加となります。

※試合の編成によっては小学校選抜戦の開始時間を早めることもあります。

○会場：二日間とも横浜市青少年育成センター(関内ホール地下2階)

☎045-664-6251 (JR「関内」駅北口 徒歩7分 横浜市営地下鉄「関内」駅徒歩5分)

## 3 内容 **団体戦** ; 1チーム3名による小学校・中学校別 学校対抗団体戦

上位チームは、文部科学大臣杯 第18回 小中学校将棋団体戦 東日本大会に出場する権利を得る。(今年は小学校3チーム、中学校5チーム)

## 4 出場規定 i 神奈川県内の小中学校に所属する児童生徒であり、学校毎にチームを組むこと。

- ii 文部科学大臣杯 第18回 小中学校将棋団体戦 神奈川県予選の大会であり、且、交流戦の要素も加味している。
- iii 1チームは同一校3名(限定)。ただし、当日に欠席者が出た場合でも残りのメンバーで参加することが可能。一校、複数チーム参加可。同じ学校であるのなら、部活動・クラブ活動以外のグループでもよい。複数チームが参加の場合、段級点の上位者より順に3名ずつでチームを構成する。なお、**参加チーム枠を超えた場合、チーム削減をお願いする場合がある。**(12運営(1)「参加チーム決定方法」を参照)
- iv 出場校は、必ず学校に担当教職員1名以上を置く。また、当日は1名以上の引率者(保護者可)がつかなければならない。
- v **参加選手は各自一組の将棋盤と駒を持参する。対局時計も可能ならば持参する。**

5 参加費 1チーム900円(当日納入)

6 申込方法 インターネットで「神奈川県小中学校将棋連盟」ホームページから申し込む。  
 ※申込用紙は、大会が近づきましたらHPに掲載しますので、必ず「18回大会用」をご使用ください。  
 ※申込先アドレスは、[ysmk2001@f02.itscom.net](mailto:ysmk2001@f02.itscom.net) です。

7 申し込み期間 小・中学校とも **令和4年6月1日(水)～6月8日(水) 18:00 必着**

8 主催 日本将棋連盟 神奈川県支部連合会  
 共催 神奈川県小中学校将棋連盟

9 審判長・役員 審判長 未定 運営委員長 関田 隆 他

10 大会時程

《 午前の部 》

9:20 ～ 9:30 引率者は受付 選手はトイレ等を済ませ着席待機  
 9:40 ～ 12:00 開会式は簡略化 試合は3試合のリーグ戦  
 終了後、単な閉会式

《 午後の部 》

13:00 ～ 13:10 引率者は受付 選手はトイレ等を済ませ着席待機  
 13:20 ～ 15:40 開会式は簡略化 試合は3試合のリーグ戦  
 (小学校選抜戦は4試合) 終了後、簡単な閉会式

11 表彰 選抜戦は中学校ベスト8、小学校ベスト4まで表彰。  
 交流戦は各リーグ2位まで表彰。個人賞としての全勝賞はなし。

12 運営

- (1)「参加チーム決定方法」(出場チームを制限する場合) ※文書末の図表を参照
- ① 各校の第1順位のチーム(Aチーム)を入れていく。

- ② 参加枠に余裕がある場合、次に各校の第2順位のチーム(Bチーム)を入れていく。これを繰り返す。(C、D、…)
- ③ ある順位のところで全校のチームが入りきれない場合は、次の優先順位で決定する。  
優先順位1 参加チームが多い学校のチーム。  
優先順位2 学年点の高いチーム。
- ④ ③の方法で決まらない場合は、役員会で抽選により決定する。

- (2) チーム編成 1チーム3名(2名・4名のチーム編成は不可・文部科学大臣杯参加規程による)
- (3) 代表チーム選考方法

代表を決める選抜戦の参加チームは、小学校は8チーム、中学校は16チームを原則とする。これらのチームの選考に当たっては、参加申し込み票に記された、段級点と学年点の合計の高いチーム順に選考していく《書類選考》。その後、各選抜戦を行い、リーグ戦等により順位を決定する。書類選考の結果、選抜戦出場に至らなかったチームは、交流戦の部に出場する。

小学校、中学校ともにエントリーの状況によって、試合形式等、変更の場合がある。

○中学校選抜戦は以下のように行う。

- ①予選リーグ～16チームを4チーム×4リーグ(A, B, C, D)に分け、リーグ戦を行う。  
→各リーグ1, 2位は予選通過(8チーム)
- ②決勝リーグ～予選通過した8チームを以下の方法で2リーグ(1組, 2組)に分け、リーグ戦を行う。  
\*予選1位チームを抽選で2チームずつ2リーグに分ける。  
\*予選2位チームを予選1位チームと重ならないように分ける。  
(例) 決勝1組～A1, C1、なら B2, D2が入る  
決勝2組～B1, D1、なら A2, C2が入る
- ③1組, 2組の1, 2位を代表チームとする。(4チーム決定)
- ④1組, 2組の3位2チームのうちのいずれか1チームを、以下の基準で代表とする。  
\*予選3試合、決勝3試合の計6試合の結果を、開催要項にある「リーグ戦などの順位決定方法」(次ページ(5)を参照)にあてはめて決める。

○中学校交流戦は、高点順に棋戦を形成し、4チームによるリーグ戦を行う。

○小学校選抜戦は以下のように行う。

- ①予選リーグ～8チームを4チーム×2リーグ(A・B)に分け、リーグ戦を行う。  
→各リーグ1, 2位は予選通過(4チーム)
- ②決勝リーグ～各リーグの1位同士、2位同士が対戦する。
- ③1位同士の勝者を第1代表チーム、敗者を第2代表チームとする。
- ④2位同士の勝者を第3代表チーム、敗者を補欠とする。

○小学校交流戦も中学校と同様に行う。

以上のように決定された代表チームが文部科学大臣杯 第18回小中学校将棋団体戦 東日本大会に出場する権利を得る。なお、東日本大会への代表順位は、全試合の勝ち数等を勘案して運営委員会で決定する。

- (4) チームの勝敗決定方法

- ① 勝者の数が多い方を勝ちとする(3勝0敗、2勝1敗の場合。まれに1勝0敗など)。
- ② 勝者数が同数の場合(欠席や千日手などで1勝1敗や1勝1敗1引き分けなど)では1番手(大将)が勝者のチームを勝ちとする。1番手が引き分けの場合は2番手が勝者の

チームを勝ちとする。

- ③ これによっても決まらない場合、リーグ戦では引き分けとする。引き分けの場合は0.5勝とする。順位決定戦の場合は抽選で勝者を決定する。

(5) リーグ戦などの順位決定方法

- ① チームの勝ち数が多い方を上位とする。  
② チームの勝ち数が同数の場合は、個人の勝ち数の合計が多い方を上位とする。  
(個人の勝ち数の合計が同じ場合は負け数の少ない方を上位とする。以下③、④も同様。)  
これによっても決まらない場合は、以下の方法で順位を決める。  
③ 1番手(大将)の勝ち数 ④ 2番手(副将・中堅)の勝ち数 ⑤ 直接対決の結果  
⑥ 抽選

(6) 持ち時間

**持ち時間は、1人5分。**使い切ったら1手30秒未満の秒読みとする。

(進行上、時間を変更する場合有り)。

(7) 対局

- ① 対局は総平手とする。  
② オーダーは最上位者を1番手(大将)とし、その後は段級点の順序とする。  
③ 両チームの対戦の先後は1番手(大将)の振り駒による。(2番手以降は先後を交互にする)  
④ 相手のチームが遅れた場合、審判員立会いの下、1番手が振り駒をし、相手方のチェスクロックを作動させる。開始後時間が切れた場合、失格とする。引率者が遅れた場合、引率者が到着するまで試合に参加することはできない。  
⑤ チェスクロックは、後手番の好きな方に置き、必ず指した手で押す。  
⑥ 持ち駒は盤の右側に置く。互いの持ち駒が見える位置に置く。  
⑦ 同一局面が4回生じた場合千日手とする。千日手の場合は引き分けとする。  
⑧ 相入玉しそうな局面になった場合や、試合終了まで大幅に時間がかかると予想される場合は審判部の裁定を求める。(相入玉の判定は27点法でおこなう。同点の場合は後手の勝ち)  
⑨ どちらかの投了で勝敗を決定する。投了は「負けました」とはっきりと相手に分かる言葉と態度で意思表示をする。  
⑩ 次の行為は反則負けとする。対局相手の反則を発見した場合は、それを指摘するか審判の判断を求める。(⑫を参照) ただし、終局後の反則の指摘は無効とする。  
・二歩 ・動けない駒を打つ ・二手指し(手が離れれば指したことになります)  
・打歩詰め ・連続王手の千日手 ・駒の動けない所に動く ・成れない駒が成る  
⑪ 他者の助言を禁止する。また、対局者が助言を求める行為も禁止する。対局者以外の者の指摘、例えば、「時計の押し忘れの指摘」や「二歩等の指摘」、「目による合図」「うなずき」等も助言に当たる。なお、助言が生じた場合は、助言者との関係がより強い選手の方を負けとする。  
⑫ 対局中、何か問題が起こった場合(相手の反則を発見した場合など)、又は自分では解決ができないような状態になった場合(急な腹痛など)には、対局者は手を上げて審判員の判断を求めることができる。必ず時計の「**中断**」を押した後、手を上げること。  
⑬ その他、運営上生じる問題は、日本将棋連盟の規約に準じ運営部が裁定する。指示に従うこと。

(8) その他

- ① 遅刻・欠場者が生じた場合、必ず当日の受付で申し出る。  
② 出場申し込みが受理された時点で、参加が決定される。以後、辞退が生じた場合でも、参加費の納入は義務付けられる。

- ③ 当連盟及び新聞社が記録のため撮影することがあります。不都合な場合はご連絡ください。
- ④ 新型コロナウイルス感染症影響下での開催のため、**申込書に必ず緊急連絡先（携帯電話）を記入してください。**

## 「参加チーム決定方法」（出場チームを制限する場合）

例：申し込み10校48チームから、40チームが出場すると仮定した場合。

はぶ中学校	いなば中学校	ひろせ中学校	さとう中学校	くぼ中学校	とよしま中学校	ふかうら中学校	みうら中学校	いとだに中学校	あくつ中学校
A 1	A 2	A 3	A 4	A 5	A 6	A 7	A 8	A 9	A 10
B 11	B 12		B 13	B 14	B 15	B 16	B 17		B 18
C 19			C 20	C 21	C 22	C 23	C 24		C 25
D 26			D 27	D 28	D 29	D 30			D 31
E 32			E 33	E 34	E 35	E 36			E 37
F(学年点8)			F(学年点8) 40	F 38	F				F(学年点9) 39
G			G	G					G
				H					
				I					

### 手順①+②

A→B→C→D→Eまでは参加チーム数に余裕があるので、「あくつ中学校Eチーム」までの37チームは、最初に参加確定。

手順③ 優先順位1…参加チーム数が最も多い「くぼ中学校」を優先。「くぼ中学校Fチーム」は参加確定。

優先順位2…「はぶ中学校」・「さとう中学校」・「あくつ中学校」は申請チーム数が同じ。  
よって、学年点の高い「あくつ中学校Fチーム」は参加確定。

手順④ 「はぶ中学校Fチーム」・「さとう中学校Fチーム」は、学年点も同じ。このため、役員会による抽選によって決定。

## ○段・級を段級点に変換する表

段・級	四段以上	三段	二段	初段	1～2級	3～4級	5～6級	7～9級	10～12級	13級～初心
段級点	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

## 13 新型コロナウイルス感染症防止対策

新型コロナウイルス感染症防止対策として以下の内容についてご確認いただき、感染リスクを最小限に抑えられるようにご留意いただきたいと思います。

本大会の運営にあたり、主催者も万全を期して感染症対策にあたります。

参加児童・生徒及び関係者の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

- (1) 大会当日起床後は検温を行い、発熱や風邪症状のある場合は顧問に報告のうえ出場辞退する。
- (2) 対局会場では必ずマスクを着用する。（不織布マスクの着用を心がけてください。）
- (3) 対局の前後には手洗いまたは手指の消毒を行う。（各チームで消毒品を持参してください。）
- (4) 対局開始は礼のみとし、投了は言葉を発して良い。
- (5) 対局終了後は感想戦を行わず、速やかに結果を報告する。
- (6) 大きな声での会話を控え、近距離での会話による飛沫感染のないよう注意する。

(用紙1) 参加者が大会当日に将棋部顧問(引率者)へ提出 <顧問が保管>

## 参加者の健康状況チェックシート及び参加確認書

このチェックシートは神奈川県小中学校将棋連盟(以下、小中将棋連盟という。)が主催する各種大会等において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。

本健康チェックシートに記入いただいた個人情報については、小中将棋連盟が、適切に取り扱い、大会参加者の健康状態の把握、来場可否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染者患者またはその疑いのある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

◎ 基本情報			
フリガナ 氏名	年齢 ( )	学校	
住所		電話番号 (自宅または保護者の携帯電話番号)	
大会当日の体温			
		度	分
◎ 大会前2週間前から当日朝までにおける健康状態			
※該当するものに「✓」を記入してください。			
ア	平熱を超える発熱がない。	オ	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない。
イ	咳(せき)、のどの痛みなどの風邪症状がない。	カ	新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない。
ウ	だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がない。	キ	クラスター発生施設への滞在歴がない。
エ	嗅覚や味覚の異常がない。	ク	政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない。
保護者 確認欄			
保護者氏名			印

※ 大会当日に、参加者から顧問(引率者)へ提出してください。

※ 本健康チェックシートは、参加校が少なくとも30日以上保管し、期日経過後は各学校において、責任を持って適切に廃棄処分する。

(用紙2) 将棋部顧問が大会当日に受付で係へ提出

令和 年 月 日

神奈川県小中学校将棋連盟 会長 様

## 参 加 状 況 報 告 書

参加者の健康状況は良好であるため、次の大会・事業等に参加いたします。  
また、引率者の健康状況も良好であることを確認しました。

参加大会名 第18回文部科学大臣杯小中学校将棋団体戦 神奈川県大会

開 催 日                    月                    日 (                    )

参加者数                    名                    引率者数                    名

以上報告いたします。

学 校 名                    \_\_\_\_\_

引 率 者 名 (自 署) \_\_\_\_\_